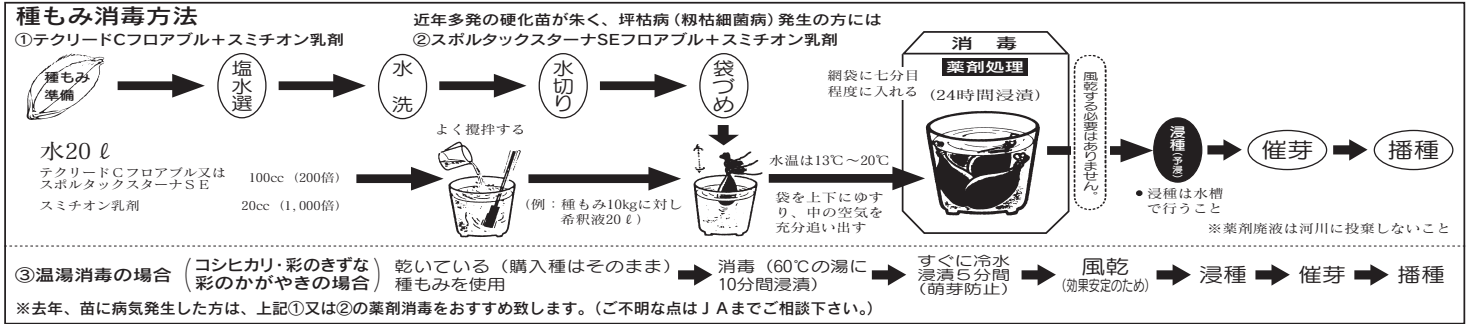


# 平成29年度 JA水稲主要病害虫の防除方法と除草剤の使い方

埼玉みずほ農業協同組合  
(平成28年9月1日現在登録内容より)

## ★保存版栽培技術ポスター（作業場等へ貼ると便利!!）★



### J A埼玉みずほ管内作付の主な県奨励品種の病害虫、気象耐性一覧

(当JA管内の直近5カ年の平均値にて記載)

品種名	早晩性	5/1播 出穂日	5/1播 収穫日	平均収量	草丈 (cm)	耐倒伏性	耐病害虫抵抗性			耐暑(気象)性		備考(長短、近況、注意情報等)
							いもち病	紋枯病	細菌性萎凋病	高温(暑熱)性	低温性	
あきたこまち	極早生	7月8日	8月15日	8~8.5俵	89cm	やや弱	やや強	やや弱	中	やや弱	カメムシ斑点米多発発生注意品種。出穂期防除必須。	
ミルキークイン	早生	7月24日	8月29日	7.5~8俵	92cm	弱	弱	中	弱	やや弱	稲内7割作付の主力品種。近年、高温で品質低下傾向。ウンカ腐葉枯病も多発発生につき苗期薬剤散布必須。	
コシヒカリ	早生	7月25日	9月1日	8~8.5俵	87cm	弱	中	やや弱	中	やや弱	稲内7割作付の主力品種。近年、高温で品質低下傾向。ウンカ腐葉枯病も多発発生につき苗期薬剤散布必須。	
彩のきずな	中生	7月24日	9月7日	9~10俵	71cm	強	やや強	強	強	弱	高温に強く、良質多収多収安定の奨励品種。低温弱。紋枯病にやや強い欠点あり。	
あさひの夢	中生	8月1日	9月11日	9~10俵	73cm	強	中	やや強	強	中	障壁(斬木、群馬)作付多し。業務需要向品種。無難な中生種。育苗時白化苗注意。(異常高温時発生)	
日本晴	晩生	8月7日	9月18日	9~10俵	80cm	中	中	中	弱	中	強多収多収安定品種。ウンカ腐葉枯病に強い欠点につき苗期薬剤散布必須。	
彩のかがやき	晩生	8月5日	9月22日	9~10俵	78cm	やや強	強	やや弱	強	弱	いもち、ウンカ腐葉枯病に強い多収多収安定の奨励品種。しかし、高温に非常に強い欠点あり。(シラタ米多発)	

※晴天時、ハウス換気で「焼け」防止を！(被覆中も) (育苗の病害虫防除法)

近年、多発のウンカ腐葉枯病対策苗期殺虫剤処理しなげません。(分株期感染につき本田防除では遅い！)

去年(発生した場合) アドマイヤーCR箱粒剤 (発生無(予防の場合) ☆ワンリード箱粒剤 各50g/育苗箱へ散布)

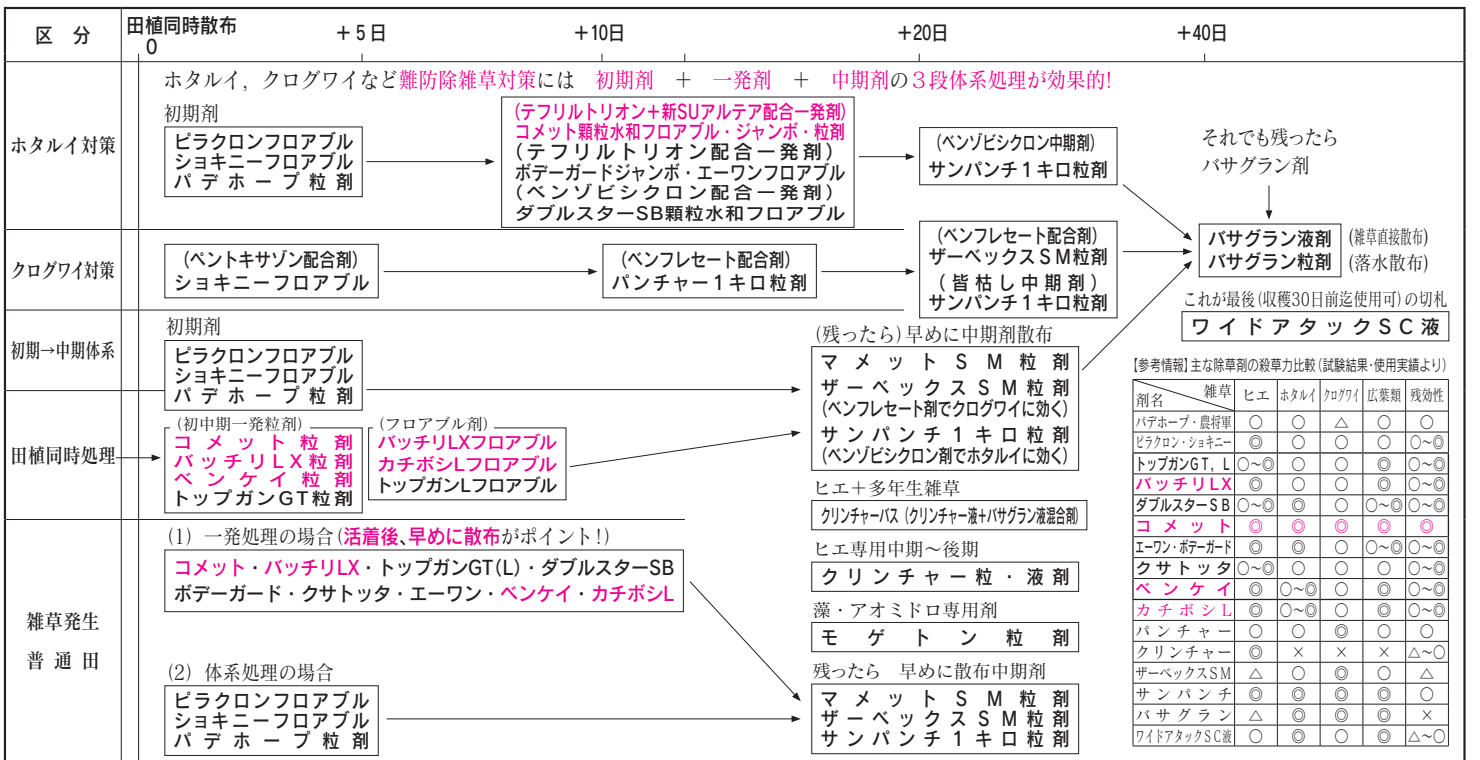
※近年、細菌性萎凋病ウンカ、イネミス・ドロオイムシ、ヨコバネ多発につき、箱粒剤を必ず散布しましょう！(本田散布では遅くて効かない！) ☆ワンリード安くて効きます！ ☆グラウンドコル、プリンス剤は、ウンカには効果不足なので注文書からは削除。イネミス・ドロオイムシ・シロイヌ等も注意。

## ★除草剤の上手な使い方・効かすポイント6が案★

- その1. 代かき・整地は均平に！ (浅深凹凸田は効かなくなる最大の原因です。レーザーレベラーの活用などはさらに有効。)
- その2. 効く成分で選びましょう！ (ホタルイ特効薬) 新SU剤アルテア(コメントに配合) テフリトリオン・ベンゾビシクロン配合剤を！ (クログワイ特効薬) 新SU剤アルテア(コメントに配合) ペンフレート・タイムロン・ベントキサゾン配合剤を！ (マツバキ・ウリカワ・ミノハギ) 新SU剤アルテア(コメントに配合) ベンソピシクロン・ピラゾルフロン エチル・イマゾスルフロンSU系配合剤を！ (コナギ・アゼナ・クサネム・イボ草) テフリトリオン・ベンゾビシクロン配合剤を！ (ヒエ) ピラクロニル・ピリメスルファン・フェノキサスルホン・オキサジクロメホン・シハロホブチル・ベンゾピシクロン・フェムトラザミド
- その3. 水持ち悪い田には粒剤の方が効く！ 薬剤が残り、撒きムラなく安定。ジャンボ剤やフロアブル剤は水と一緒よに抜ける恐れ。
- その4. 繁忙期は田植同時期または初期剤の使用で雑草の侵入を未然に防止。(一発剤散布まで間を空けると雑草が伸びて効かない) 近年、雑草の生育速度が倍速化。田植期の高温化で以前は1葉伸びるのに2日かかっていたのが最近では3~4日へと
- その5. 散布後は湛水3~5日維持。水は入れないそのままに！ 薬剤処理層(膜)が水流で崩れ、効果が薄まるので入水禁止！
- その6. 毎年同じ場所(田)に多発生解決策2つのご提案！
- 刈取後の雑草2番穂へ(10~11月降霜前) ラウンドアップ25~100倍液を直接雑草へ散布(新潟、東北、北陸などでは定番技術)
  - 耕起の回数に増やす(雑草の塊茎(球根)や種子を表層寒気にさらして、弱らせる)

### 参考情報

- ◎ 多年生草 (ホタルイ・クログワイ (千本植、イゴなど)・オモダカ・マツバキ・アオイ・アシカキ・ウリカワなど) 塊茎(球根)増殖が主だが、ホタルイなどは種子で増殖する。
- \* ホタルイとクログワイの判別法 (ホタルイ) 球根無し。茎多く、7月には先端に花小穂(白黄色)の付く (クログワイ) 球根あり。(黒くて小さい) 茎をしごくときチヂチ音がする。花穂ほとんど付かない。
- ◎ 1年生草 (ヒエ・アゼナ・アブノメ・ミノハギ・コナギ・クサネム・イボ草・タテ・センダン草など) 種子繁殖性。畦畔より侵入、繁殖種子強害草、中干後からも発生多い。(中干で除草剤がリセットされる) 中、後期剤の利用を！
- \* ヒエと稲の判別法 (ヒエ) 葉表裏とも無毛で柔らかい。(稲) 葉表裏とも毛があり、芯がある。



## 水稲早植の防除方法 (コシヒカリ等)

種子消毒	4月			5月			6月			7月			8月			9月
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
播種	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防	箱施用予防
出穂																
上刈																

イネミス・ドロオイムシ・ツトムシ・ウンカ・ヨコバネ本田防除

いもち病予防

いもち病兼用予防剤

オキシプロピリン

フジフロン

ピラゾルフロン

MR, ジョイ, カイ, W, トレボ, トレボ, トレボ, トレボ

※カメムシは畦畔雑草を好むので出穂前後2週間除草しない(田への侵入減る)